

## 5 海津市立城山小学校

学 校 名	海津市立城山小学校 (校長 坪井 秀憲)
活動の種類・単位	校区の地域人材や保護者を活用し、クラブや昼休みに児童とふれあう場を創ることで、子どもも親も地域も健康で豊かな気持ちとなる。
教育課程上の位置付け	総合的な学習の時間・特別活動・その他 (昼休み・夏休み)

### 1 活動テーマ

地域とともに歩み、地域と学校とをつなぐ教育の推進～子どもも親も地域も Happy な学校づくり～

### 2 主な活動内容

#### (1) 地域の方を講師に招くクラブ活動

4月から11月まで、1回あたりのクラブ時間を2時間とし、10回開催した。今年度は、「将棋」「生け花」「地域探検」の3つのクラブを創設し、地域講師を招いて、クラブ指導を行った。地域探検クラブでは、市のマイクロバスを借りて、市内の史跡や文化施設を巡回し、地域への関心を深めることができた。



▲地域探検クラブ

#### (2) ロング昼休みでの城小ふれあい広場

1学期は毎週木曜日、2学期からは隔週の木曜日をロング昼休み(13:10～13:50)とし、各種文化サークルの指導者や保護者等を招いて、7つのコーナーを創り、城小ふれあい活動を行ってきた。「将棋」「石アート」「生け花」「押し花」「フォークダンス」「社交ダンス」「絵本読み聞かせ」の7コーナーに、子どもたちは自由に参加し、地域の方や保護者とのふれあいを深めた。地域講師からは、「毎回、子どもたちから元気をいただいている。」という感想をいただいている。保護者からは「子どもがふれあい広場での体験をうれしそうに話してくれる。」という声をいただいている。

地域の方からの要望で、6～7月には「浴衣着付け教室」を行ったり、サッカー少年団指導者から、ロング昼休みに「サッカー教室を行いたい。」という申し出があったりで、さらに広がりが期待できる。



▲フォークダンスコーナー



▲石アートコーナー



▲押し花コーナー



▲絵本読み聞かせコーナー

#### (3) 大学生を招く夏休み補充学習

夏休みの3日間の補充学習に岐阜聖徳学園大学から7名の学生をインターンとして招き、子どもたちの学習と遊びの支援を行ってもらった。保護者による送迎を原則としたが、全校の46%が参加し、学習や遊びを通して大学生とのふれあいを楽しんだ。アンケートでは、来年度も参加したいという児童が96%にも達した。

#### (4) 豊かな体験：祖父母学級・ふれあい活動

各学年で地域講師を招き、豊かで本物にふれる体験の中で、地域の方や保護者、祖父母との交流を深めた。1年:昔の遊び体験, 2年:紙ひこうき体験, 3年:押し花・木の置物製作, 4年:フォークダンス体験, 5年:ハーバリウム体験・木の椅子作り, 6年:生け花・お茶・墨絵体験

子供たちに付いた力	子どもたちが日常的に保護者や地域の方とふれあうことで、子どもたちの心が癒され、学校生活を楽しめる子が増えてきた。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの自己肯定感が高まった。</li> <li>・保護者の学校教育に寄せる期待が高まった。</li> <li>・地域と学校との関係がより深まった。</li> </ul>
今後の方向	低学年では、保護者や地域の方とのふれあい活動を今後も推進していくとともに、高学年では教科や総合的な学習の時間での講師を積極的に招聘し、豊かな体験活動とともに、地域課題も学び、誰もが幸せに暮らせるまちづくりへの視点をもたせていく。